

	7月				8月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
今年	31.1	25.9	28.1	87.0	31.2	25.6	28.0	17.0
去年	30.5	25.3	27.7	316.0	31.7	26.2	28.6	156.0

ご挨拶

代表取締役社長 平田勝造
(S25. 8月生れ 福岡市在住)

農家の皆さま、こんにちは。

8月下旬に喜界工場を訪れた際、駆け足ながら圃場を見て廻り、早ばつ影響やさとうきびの生育状況を実感してきました。例年、この時期、緑広がる圃場は、塩害や日照りの影響でかすれた色に変わり、さとうきびは背丈の伸びが不足し、葉っぱも強い日差しを避けようとロールし元気がない姿となっていました。きれいに手入れした農家の皆さまの努力も天候には抗えないのかと、その厳しさを再確認させられたところであります。

この「さとうきび通信」が発行されている頃には、適度な雨量がもたらされ元気な緑に回復していることを願うばかりであります。

日本で最も美しい村

喜界島はその一つに選ばれています。どこまでも延びる青海原と紺碧の空をバックに、島全体にさとうきび畑の濃い緑が広がる情景は、最も美しい村である所以であると解釈しています。手入れの行届いた圃場のさとうきび畑の濃い緑がやわい海風になびく姿は、稲穂とさとうきびの違いはあるものの、昔、日本のどこにでもあった田園風景でもあります。一度失えば、取り返すことがほとんどできず、この貴重な情景を大切に維持していきたいものであり、それを守っていくことは大げさに言えばこの島に暮らす者の責務であると思っています。

三方よし

ご存じの通り、この言葉は近江商人の心得として伝わるもので、取引は当事者(売手・買手)だけでなく、世間のためにならなければならないと教えているものです。

この考えを島の基幹産業であるさとうきびに当てはめると、農家や受託組合は単収を高め、高品質(高糖度で夾雑物のない)さとうきびを生産し、製糖会社はその原料から効率よく蔗糖分を回収し、きび収穫量増産に向けた手助けをする。このことで島の経済が拡大する。こう確信するところであります。それぞれの役割を達成することで「三方よし」が実現するものと考えます。

当社の役割と農家・受託組合へのお願い

当社の役割では、効率よく蔗糖分を回収することについては、設備や操作方法の改善に向けて社内努力しているところですが、きび収穫量増産への手助けについては現状よりも効果が上がる方法がないかと模索しているところであります。

当社のきび増産に向けた支援は年により多少の違いはありますが、直接・間接合わせて年間3千万円前後支出しています。この金額が多いか少ないかは別にして、現状の用途がきびの増産と高品質につながる効果的な使われ方をしているかどうか今一度考えてみたいと思っています。管理の行き届いた圃場は単収も高く、さとうきびも高糖分で夾雑物も少なく、なにより「最も美しい村」の必要条件でもあります。喜界島の一員でもある当社は、こうしたさとうきびの比率を高める責務があり、売り手である農家・受託組合と買手である製糖会社双方が「よし」、その結果、島全体の経済が潤う(世間よし)、「三方よし」の実現に近づくと考えています。農家・受託組合が努力し、汗を流し、それと同じ汗を生和糖業(株)も流すことで「三方よし」に近づけるものと考えているところで、そのために現状改革も進んで取り組むつもりであります。その結果、きびの増産や高品質が見込まれるなら、当社からの支援額をさらに増やしてもいきたいと考えています。

今回、圃場を廻って冒頭述べた農家の皆さんの努力も天候不順にはどうしようもないのかと同時に、管理の行届いた圃場とそうでない圃場の差は天候の影響で通年より大きく出ているように感じました。さとうきび産業を支え、引いては「三方よし」を実現するため、農家の皆さまにおかれても単収の高い、高品質のさとうきびに向け圃場の管理を徹底していただきたくお願いする次第であります。

この「さとうきび通信」は発行回数を少しでも上げられないかと考えるところで、その際には今回に限らず小職からの便りも都度載せていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくご依頼申し上げます。

以上

◆◆◆ 前期収穫面積・生産量と今期の収穫面積見込 ◆◆◆

※今期は7/1調査

作型	夏植			秋植			春植			株出			合計		
	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量
各年	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t
H 23/24 年	39,050	10,560	16,530	68,640	134,780
H 22/23 年	39,567	8,432	33,362	8,123	8,318	6,757	12,855	6,387	8,210	62,360	6,236	38,890	122,905	7,096	87,219

トラッシュってなに？ その影響は？



トラッシュとは「夾雑物」と言い、目的とするもの以外の混雑物の意味。「原料」とは砂糖を作る原料のことを言います。「原料さとうきび」とは最上部の展開葉から数えて5番目の葉の付け根から下の「甘蔗茎」を言います。原料甘蔗茎ですから、稍頭部、青葉、枯葉、ひげ、根、土などは含まれません。もちろん、腐食部分も含まれません。これら原料茎にならない部分をトラッシュと言います。売買契約ではこれ等を除いたさとうきびを売買することとなっています。

搬入された原料はトラッシュ類を除去するデトラッシャー(ハーベスター収穫のみ)を通して工場に運ばれます。トラッシュ類が総て除去されるわけではなく、その40%位は除去されずに工場内へ流れていきます。その量は年間約3,000トンにもなります。

このトラッシュが入る黒砂糖には苦みや臭み、カビ臭が入り品質が悪くなるのは、黒糖工場の方はわかりですね。当社も一緒なんです。

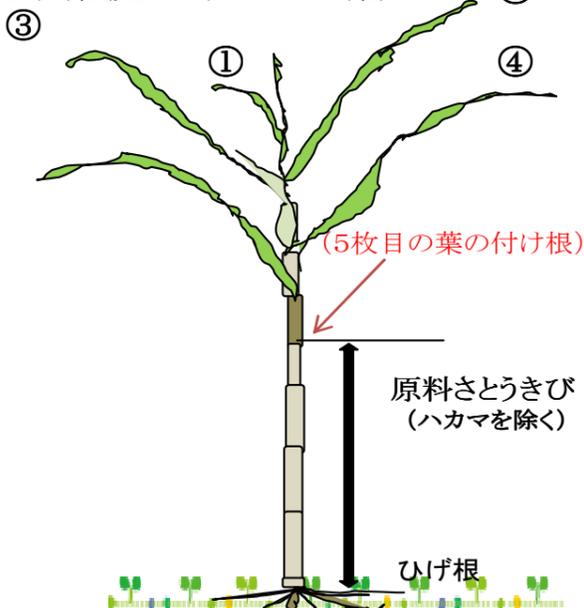
トラッシュはキビではありませんから工場に砂糖は残さず、逆にバガスとなって糖分を持っていくだけです。工場としては大迷惑な話なのです。

キビを搾る圧搾係のみに限らず、砂糖を煎く製造係においても青葉から出る「青汁」などが特に「結晶化」の邪魔をしたり、変な結晶ができてたりするのです。結晶化の邪魔は歩留に影響を与えトラッシュ1%が歩留を0.14%低下させます。

最近目にする異常なトラッシュに畑の雑草もあります。

トラッシュの少ないさとうきび原料を出荷しましょう。

展開葉(完全に開いている葉)



散水車 貸出中！！

7月下旬以降、降雨が少なく、台風9号の塩害もあり、生育が阻害されている状況ですので灌水を行いましょ。



4 トン車 (普通免許OK!)

返却日を含めて最大3日間。スプリンクラー未設置地域を優先。

喜界町さとうきび生産対策協議会

問合せ先 生和糖業(株) 原料係 (65-3133)

開発組合 からのお知らせ

ハカマ、フィルターケーキ、EM菌

の混ざった **有機物資材** を造っています。

来春に 運搬・散布 込みで
1台(3トン車) 4,500円で販売 予定!

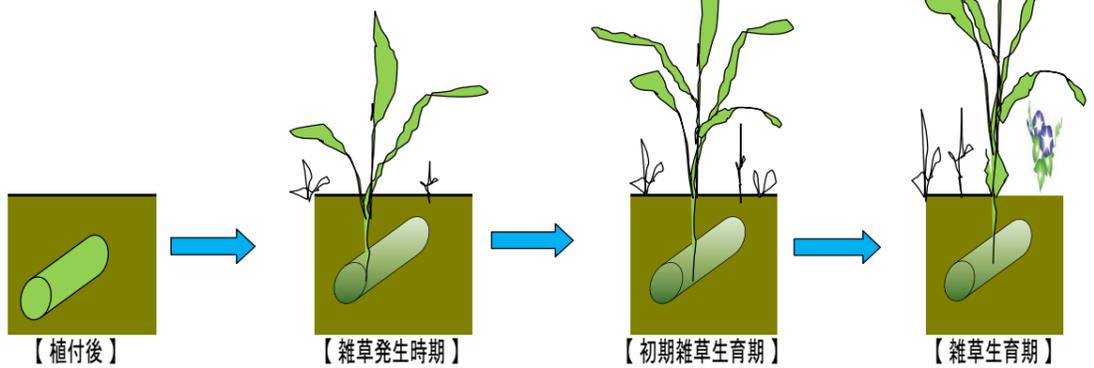
今期は
8ヶ月ほど経過した有機物資材(ハカマ)★
をストック中。
自己引取運搬にて無償で提供します。
...数量に限りあり...

問合せ先 喜界農業開発組合
☎(65-4951)

さとうきび除草剤の使い方

※防除のポイント!!

適正使用、適期防除を行いましょ!



カーメックスD (散布適期)

センコル (ツユクサ、ムラサキカタバミ)

アージラン・2,4-D (残量農薬の関係上、収穫前90日以内の使用は禁止されています。)

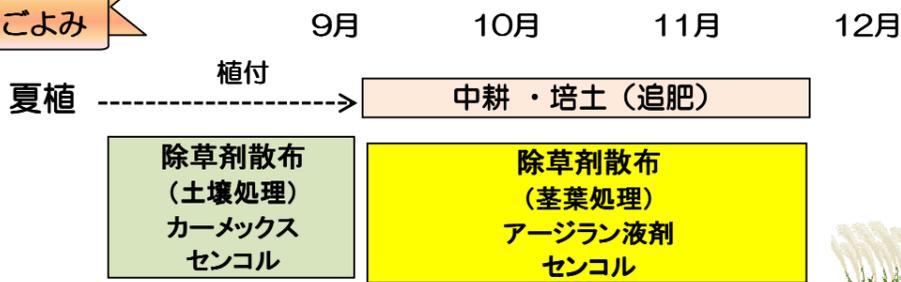
イヌホウズキ、タチスズメルヒエ、ムラサキカタバミ

広葉雑草など1年生雑草に効く

葉の数や大きいものほど薬剤吸収がよい

ギシギシ、アサガオ、セイタカアワダチソウ

栽培ごよみ



植付後10日以内に全面散布する

雑草が小さいうちにかけると効果は大(茎葉処理)

さとうきび制度の価格 について

平成19年からさとうきびの新制度が導入され、生産者への支払は取引価格(製糖会社から支払われるきび代)と経営安定対策(交付金)の2種類になりました。



国(農畜産業振興機構)が直接支払(事前に国が単価を決定)



製糖会社が、砂糖の販売収入から支払(砂糖の価格によって変動)

◆◆◆◆ 新制度以降のさとうきび価格の推移 ◆◆◆◆

	生産者(原料トン当り)				製糖会社(製品トン当り)	
	交付金	きび価格	合計	前年比(%)	交付金	前年比(%)
平成 23/24年	16,000
" 22/23年	16,320	5,972	22,292	104.2	50,553	75.5
" 21/22年	16,320	5,066	21,386	103.7	66,967	98.6
" 20/21年	16,320	4,301	20,621	99.6	67,895	102.5
" 19/20年	16,320	4,382	20,702	66,241

新制度は従来の最低生産者価格を廃止し、市場価格が反映される価格制度になりました。平成21/22年期より海外原糖相場の高騰により市場価格が反映されて、きび価格が高くなっています。砂糖と甘味資源作物(てん菜とさとうきび)は、高い関税と調整金による保護と交付金の支援により維持されています。

久しく業務の都合でさとうきび通信を休んでおりましたが、今回、再発行いたしましたのでよろしくお願い申し上げます。
東日本大震災の被災地に笑顔をと復興への願いを込めた「フラガールズ甲子園」が4日に東京で開催された。
我が島の喜界高校女生徒が初代最優秀賞に輝いたニュースには、残暑の厳しい季節に心地よい涼風が吹いた。満面笑顔の
"ハナサめーらび" たちの快挙に、南の小さな島からでもやればできる!!と全国に挑戦した彼女たちの意気込みに天晴れだ!
おめでとう! (*^_^*)



編集後記